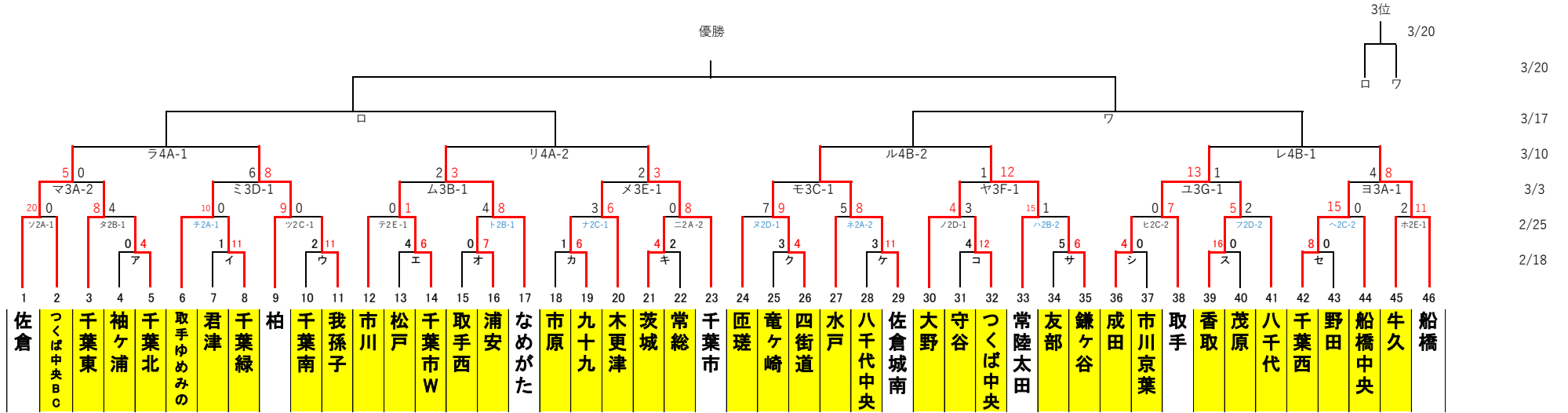


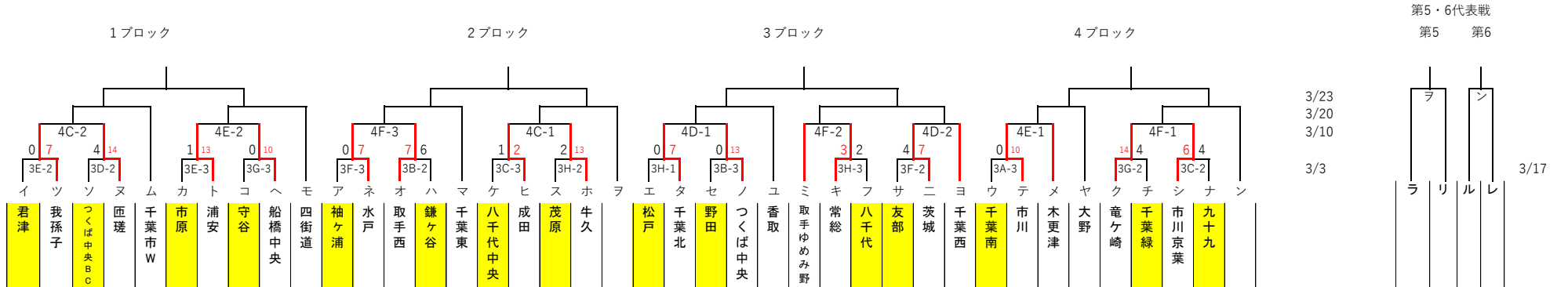
2024年 小林喜一メモリアル東関東支部春季大会



3月10日ランド

A 佐倉 ・ B 取手 ・ C 山桑球場 ・ D 千葉北 ・ E 木更津 ・ F 竜ヶ崎KKスタジアム

敗者復活戦



3回戦・敗者1回戦

3月3日

結果

グラウンド	グラウンドタイプ	第1試合		第2試合		第3試合	
A 佐倉	B	42 千葉西	46 船橋	1 佐倉	3 千葉東	ウ 千葉南	テ 市川
B 取手	A	14 千葉市W	17 なめがた	オ 取手西	ハ 鎌ヶ谷	ノ つくば中央	セ 野田
C 九十九	A	26 四街道	29 佐倉城南	ナ 九十九	シ 市川京葉	ケ 八千代中央	ヒ 成田
D 柏	B	6 取手ゆめみ野	9 柏	ソ つくば中央BC	ヌ 匝瑳	—	—
E 木更津	A	20 木更津	23 千葉市	イ 君津	ツ 我孫子	ト 浦安	カ 市原
F 友部	A	30 大野	33 常陸太田	ニ 茨城	サ 友部	ア 袖ヶ浦	ネ 水戸
G 竜ヶ崎KK スタジアム	B	38 取手	39 香取	チ 千葉緑	ク 竜ヶ崎	コ 守谷	ヘ 船橋中央
H 千葉北	A	タ 千葉北	エ 松戸	ス 茂原	ホ 牛久	キ 常総	フ 八千代

準々決勝・敗者2回戦

3月10日

予定

グラウンド	グラウンドタイプ	第1試合		第2試合		第3試合	
A 佐倉	B	1 佐倉	9 柏	17 なめがた	23 千葉市	—	—
B 取手	A	38 取手	46 船橋	29 佐倉城南	33 常陸太田	—	—
C 山桑球場	A	ヒ 成田	ホ 牛久	ツ 我孫子	ヌ 匝瑳	—	—
D 千葉北	A	タ 千葉北	ノ つくば中央	ヨ 千葉西	ニ 茨城	—	—
E 木更津	A	テ 市川	メ 木更津	ト 浦安	ヘ 船橋中央	—	—
F 竜ヶ崎KK スタジアム	B	ク 竜ヶ崎	シ 市川京葉	ミ 取手ゆめみ野	キ 常総	オ 取手西	ネ 水戸

< 様式 A >

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名： 小林喜一メモリアル東関東支部春季大会

チーム名：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		/		/		/		/		/		/		/		/	
対戦相手		VS		VS		VS		VS		VS		VS		VS		VS	
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事（役員）確認サイン																	
球場責任審判員確認サイン																	
監督確認サイン																	

【投球数制限】 注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するをお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、**投球数カウント係が記入した本シート(原本)に球場責任審判員がサイン**後、球場責任理事（役員）及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ② 監督は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。
注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④ 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 小林喜一メモリアル東関東支部春季大会

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球場名 :

< 記入例 >		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正 T	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注) 五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記入欄 】		注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。

- また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 様式 B やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
- ② 試合終了後、責任審判員が保管する。